

消防団に関するアンケート調査結果

消防課

1 調査目的

今後の消防団員の確保に関する施策の参考とするため、皆さんの率直なご意見を伺いました。

2 調査対象等

調査対象: 県政モニター839人(郵送モニター:198人 インターネットモニター:641人)

調査方法: 郵送及びインターネット

調査期間: 令和6年8月6日～8月26日

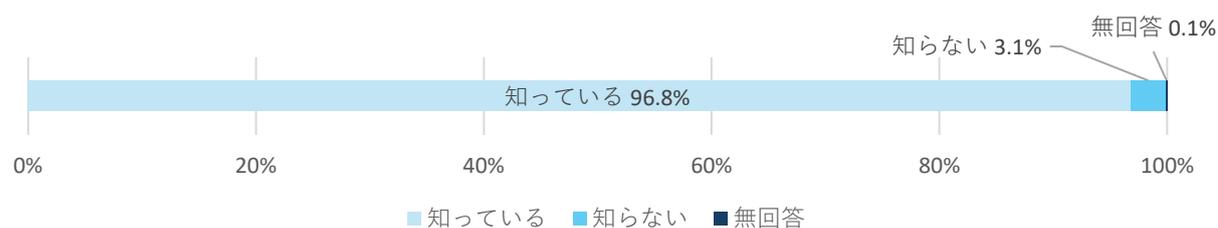
回収結果: 740人(回収率88.2%)

構成比はパーセントで表し、小数点以下第2位を四捨五入して算出しています。

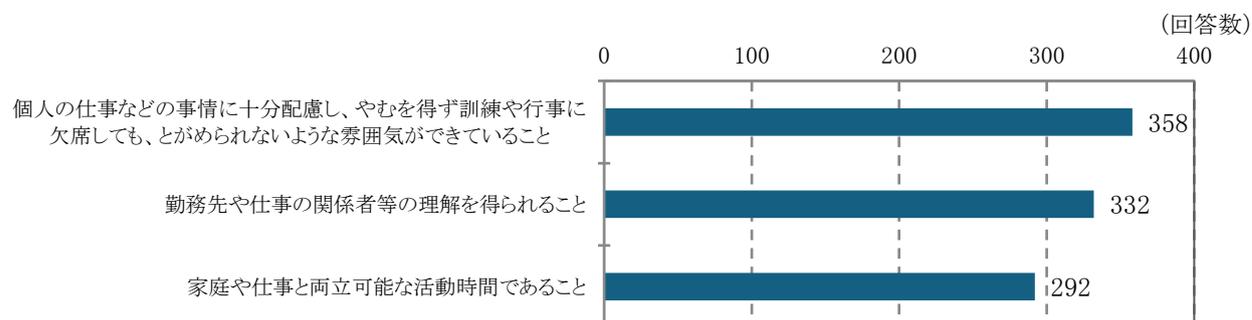
そのため、合計が100%にならない場合があります。

3 結果概要

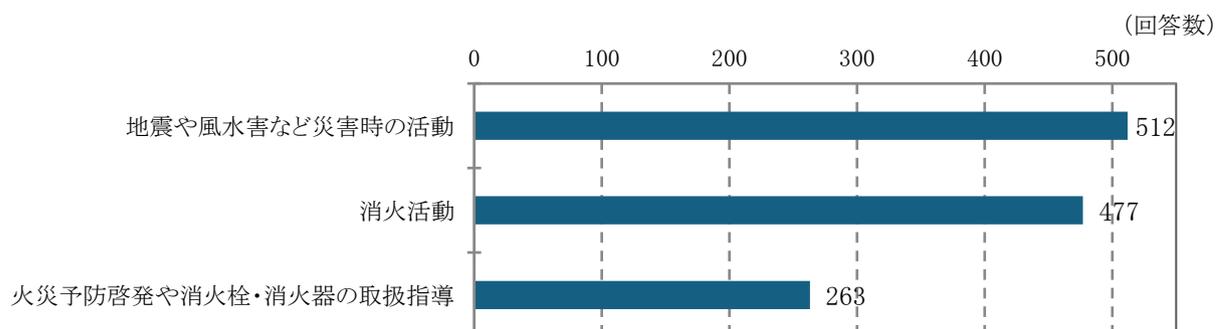
○ 消防団の認知度



○ 消防団に入団するために大切なことは？【上位回答3つ】



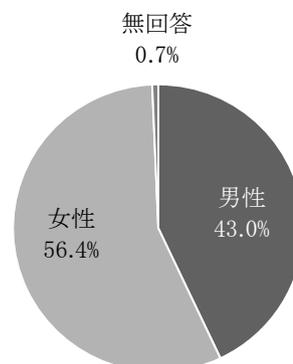
○ 消防団に期待する活動内容は？【上位回答3つ】



4 回答者属性

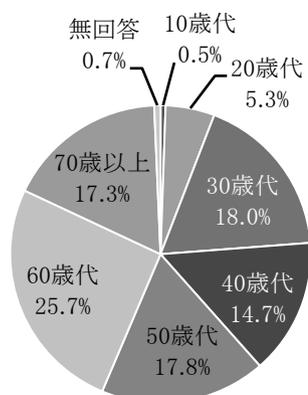
(1) 性別

	人数	割合
男性	318	43.0%
女性	417	56.4%
無回答	5	0.7%
計	740	100.0%



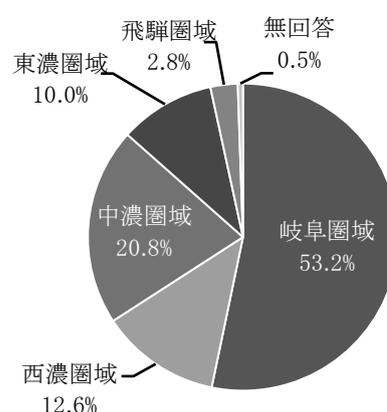
(2) 年代別

	人数	割合
10歳代	4	0.5%
20歳代	39	5.3%
30歳代	133	18.0%
40歳代	109	14.7%
50歳代	132	17.8%
60歳代	190	25.7%
70歳以上	128	17.3%
無回答	5	0.7%
計	740	100.0%



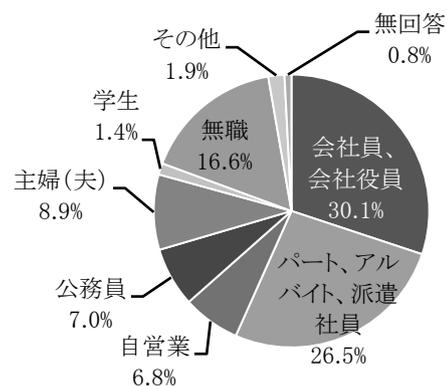
(3) 居住圏域別

	人数	割合
岐阜圏域	394	53.2%
西濃圏域	93	12.6%
中濃圏域	154	20.8%
東濃圏域	74	10.0%
飛騨圏域	21	2.8%
無回答	4	0.5%
計	740	100.0%



(4) 職業別

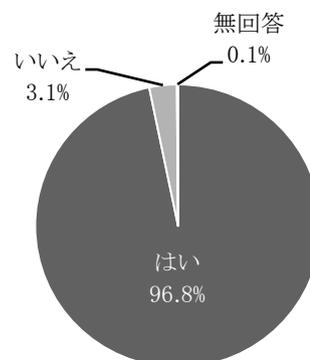
	人数	割合
会社員、会社役員	223	30.1%
パート、アルバイト、派遣社員	196	26.5%
自営業	50	6.8%
公務員	52	7.0%
主婦(夫)	66	8.9%
学生	10	1.4%
無職	123	16.6%
その他	14	1.9%
無回答	6	0.8%
計	740	100.0%



5 調査結果

問1 消防団のことを知っていますか。

	人数	割合
はい	716	96.8%
いいえ	23	3.1%
無回答	1	0.1%
計	740	100.0%



問2 (問1で「はい」と答えた方)

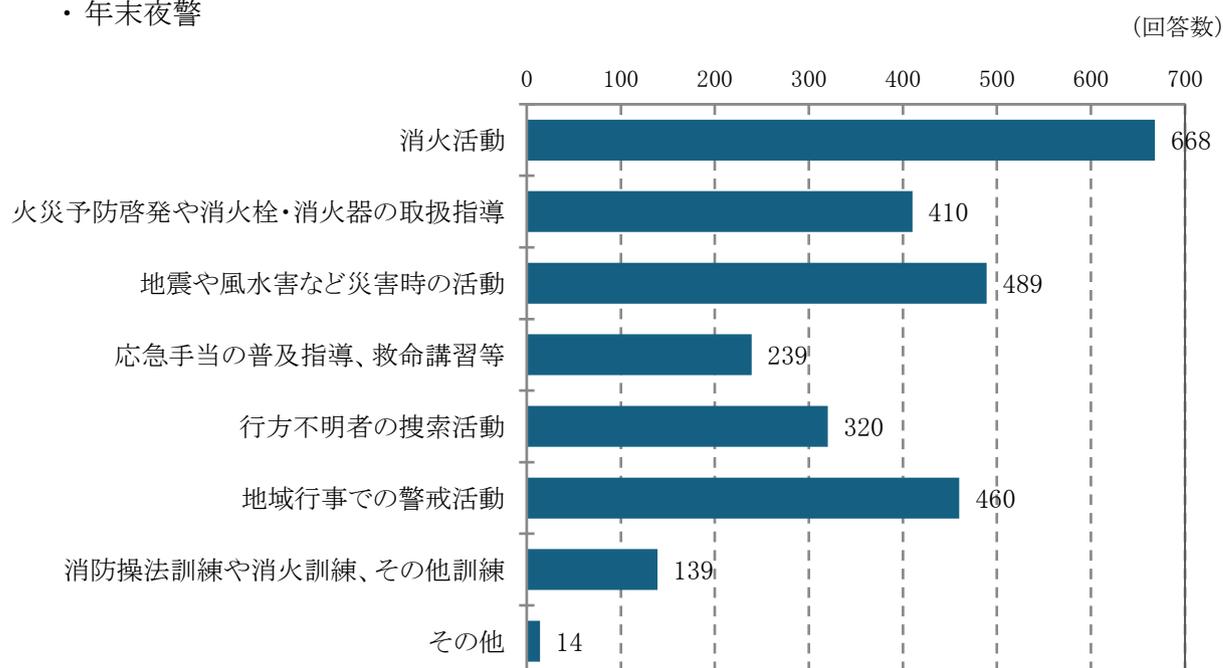
消防団の活動内容として、知っているものをすべて選んでください。

(複数回答) 回答者 716 人

	回答数	割合
消火活動	668	93.3%
火災予防啓発や消火栓・消火器の取扱指導	410	57.3%
地震や風水害など災害時の活動	489	68.3%
応急手当の普及指導、救命講習等	239	33.4%
行方不明者の搜索活動	320	44.7%
地域行事での警戒活動	460	64.2%
消防操法訓練や消火訓練、その他訓練	139	19.4%
その他	14	2.0%
計	2,739	-

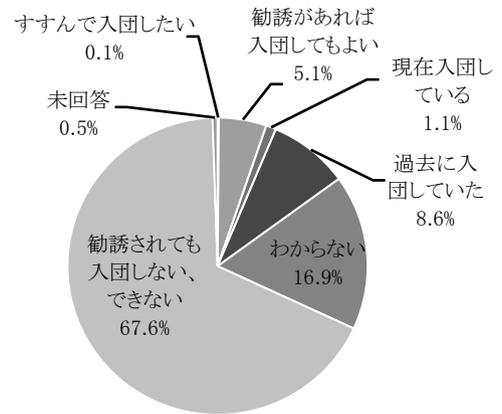
「その他」の回答の抜粋及び要約

- ・ 地域イベント参加
- ・ 年末夜警



問3 お住まいの地域や勤務先の地域などで消防団に入団したいと思いますか。

	人数	割合
すすんで入団したい	1	0.1%
勧誘があれば入団してもよい	38	5.1%
現在入団している	8	1.1%
過去に入団していた	64	8.6%
わからない	125	16.9%
勧誘されても入団しない、できない	500	67.6%
未回答	4	0.5%
計	740	100.0%



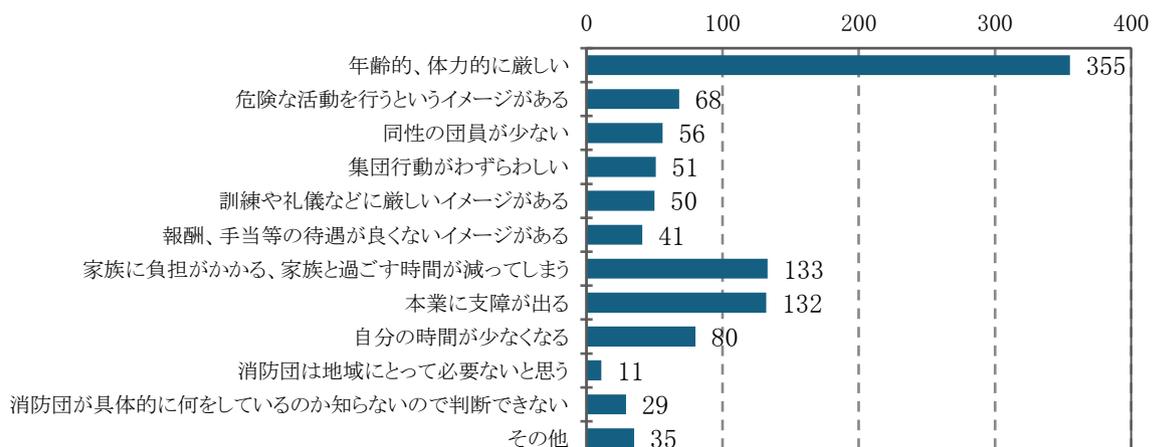
問4 入団しない又はできない理由は何ですか。3つまで選んでください。

(複数回答) 回答者 504 人

	回答数	割合
年齢的、体力的に厳しい	355	34.1%
危険な活動を行うというイメージがある	68	6.5%
同性の団員が少ない	56	5.4%
集団行動がわずらわしい	51	4.9%
訓練や礼儀などに厳しいイメージがある	50	4.8%
報酬、手当等の待遇が良くないイメージがある	41	3.9%
家族に負担がかかる、家族と過ごす時間が減ってしまう	133	12.8%
本業に支障が出る	132	12.7%
自分の時間が少なくなる	80	7.7%
消防団は地域にとって必要ないと思う	11	1.1%
消防団が具体的に何をしているのか知らないので判断できない	29	2.8%
その他	35	3.4%
計	1,041	100.0%

「その他」の回答の抜粋及び要約

- ・ けががあるなど身体的な事情
- ・ 仕事や家庭の事情により消防団活動の時間が取れない
- ・ 体育会系で飲み会などの付き合いが多いイメージがある
- ・ 別に自治会などの地域の組織に加入している



問5 多くの方に消防団に入団していただくため、どのようなことが大切でしょうか。

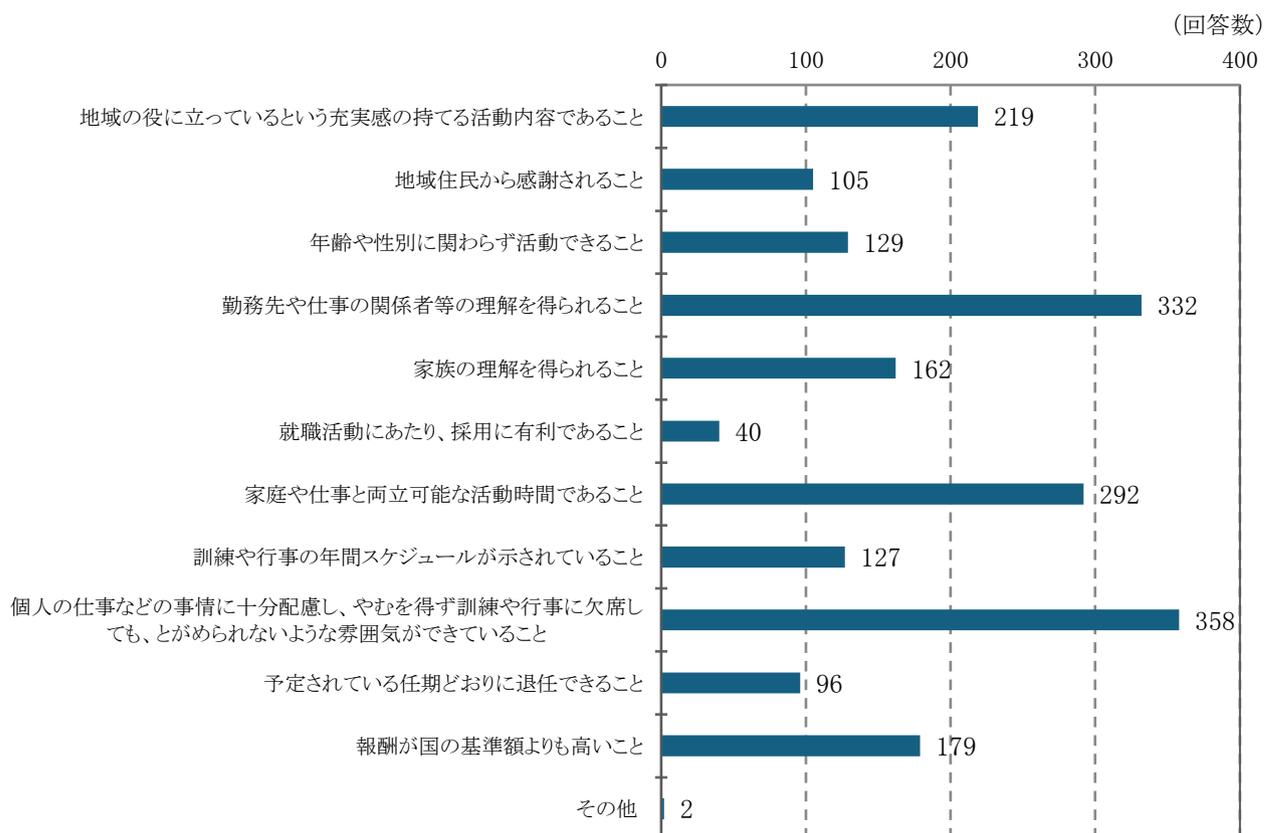
3つまで選んでください。

(複数回答) 回答者 735 人

	回答数	割合
地域の役に立っているという充実感の持てる活動内容であること	219	10.7%
地域住民から感謝されること	105	5.1%
年齢や性別に関わらず活動できること	129	6.3%
勤務先や仕事の関係者等の理解を得られること	332	16.3%
家族の理解を得られること	162	7.9%
就職活動にあたり、採用に有利であること	40	2.0%
家庭や仕事と両立可能な活動時間であること	292	14.3%
訓練や行事の年間スケジュールが示されていること	127	6.2%
個人の仕事などの事情に十分配慮し、やむを得ず訓練や行事に欠席しても、とがめられないような雰囲気ができていること	358	17.5%
予定されている任期どおりに退任できること	96	4.7%
報酬が国の基準額よりも高いこと	179	8.8%
その他	2	0.1%
計	2,041	100.0%

「その他」の回答の抜粋及び要約

- ・ 操法大会に向けた訓練やその他の訓練に時間を割かないこと
- ・ 操法大会のための訓練を廃止し、現場で使える実用的な訓練を行うこと
- ・ 飲み会などの付き合いをなくすこと
- ・ 悪いイメージを払しょくし、消防団の地域貢献度や魅力をPRしていくこと



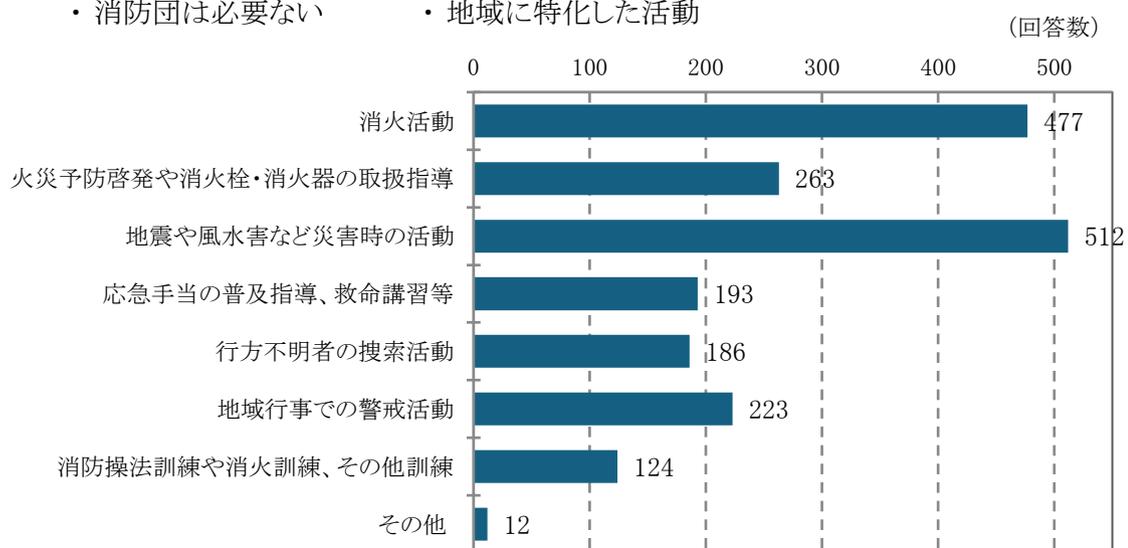
問6 これからの消防団に期待する活動内容はどれですか。3つまで選んでください。

(複数回答) 回答者 739 人

	回答数	割合
消火活動	477	24.0%
火災予防啓発や消火栓・消火器の取扱指導	263	13.2%
地震や風水害など災害時の活動	512	25.7%
応急手当の普及指導、救命講習等	193	9.7%
行方不明者の搜索活動	186	9.3%
地域行事での警戒活動	223	11.2%
消防操法訓練や消火訓練、その他訓練	124	6.2%
その他	12	0.6%
計	1,990	100.0%

「その他」の回答の抜粋及び要約

- ・ 消防団は必要ない
- ・ 地域に特化した活動



問7 消防団の活動を知り、関心を持っていただくために有効な手段は何だと思いますか。

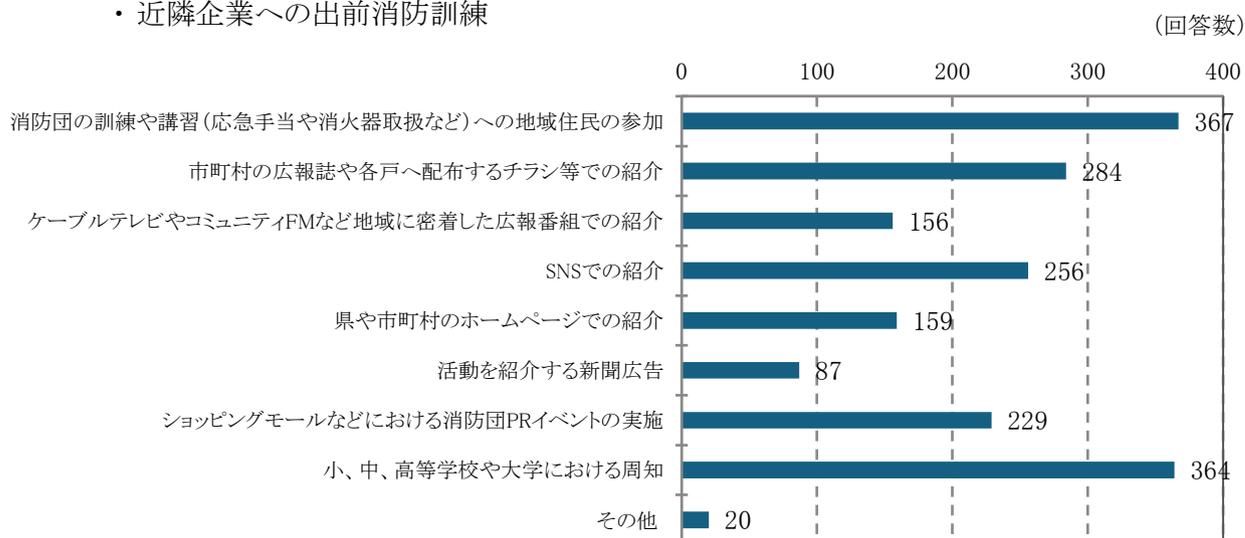
3つまで選んでください。

(複数回答) 回答者 738 人

	回答数	割合
消防団の訓練や講習(応急手当や消火器取扱など)への地域住民の参加	367	19.1%
市町村の広報誌や各戸へ配布するチラシ等での紹介	284	14.8%
ケーブルテレビやコミュニティFMなど地域に密着した広報番組での紹介	156	8.1%
SNSでの紹介	256	13.3%
県や市町村のホームページでの紹介	159	8.3%
活動を紹介する新聞広告	87	4.5%
ショッピングモールなどにおける消防団PRイベントの実施	229	11.9%
小、中、高等学校や大学における周知	364	18.9%
その他	20	1.0%
計	1,922	100.0%

「その他」の回答の抜粋及び要約

- ・ 訓練時、災害時の活動の動画公開
- ・ 活動中は、消防団であることがよく伝わるようにする
- ・ 近隣企業への出前消防訓練



問8 消防団員の確保対策について、県や市町村に行ってほしい取組みはどれですか。

3つまで選んでください。

(複数回答) 回答者 738 人

	回答数	割合
報酬や出動手当の引き上げなどによる処遇改善	517	26.2%
企業や高校・大学などへの働きかけによる消防団への入団促進	233	11.8%
地域住民に対する消防団活動の周知	245	12.4%
人口減少や少子化・高齢化を踏まえた消防団の組織の見直し	399	20.2%
資機材や装備品の充実	81	4.1%
消防団員を雇用し活動に協力している事業所への支援	229	11.6%
消防団員の活動を支える家族に対する支援	250	12.7%
その他	21	1.1%
計	1,975	100.0%

「その他」の回答の抜粋及び要約

- ・ 消防団員の家族に対する支援
- ・ 操法大会の廃止、不参加又はあり方の見直し
- ・ 勤務先の地域にある消防団への参加や行政職員、地元議員、学生、外国人等の入団
- ・ 付き合いや飲み会など古いイメージの払しょくと魅力のPR

